

# 目的に応じて適切に話合いを進行する力を高める国語科學習指導の工夫

## — 動画を活用し、話合いの仕方をまとめる活動を通して —

呉市立白岳小学校 吉原 知美

### 研究の要約

本研究は、目的に応じて適切に話合いを進行する力を高める学習指導の工夫について考察したものである。文献研究から、本研究では目的に応じて適切に話合いを進行する力を、会議という話合い活動で、司会者・提案者・参加者がそれぞれの役割を理解し、話合いの目的からそれに、自分と他者の意見の共通点と相違点を整理しながら話す力とした。この力を高めるため、動画を活用し、話合いの仕方をまとめる活動を取り入れることが有効であると考えた。そこで動画教材を作成し、第3学年で全員が役割を経験し、動画を活用して各役割の理解を深め、話合いの仕方をまとめる活動を取り入れた授業を行った。その結果、役割を理解し、話合いの目的からそれに、自分と他者の意見の共通点と相違点を整理しながら話す力に高まりが見られた。このことから、動画を活用し、話合いの仕方をまとめることは、目的に応じて話合いを進行する力を高めることに有効であるといえる。

**キーワード：**話合い 動画の活用 役割の理解及び経験

### I 主題設定の理由

小学校学習指導要領（平成20年、以下「指導要領」とする。）の国語第3学年及び第4学年「A話すこと・聞くこと」の話し合うことに関する指導事項才として、「互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと。」<sup>1)</sup>と示されている。

この指導事項に関わって、平成24年度全国学力・学習状況調査では、国語B②三「司会として話合いの目的を再確認し、計画的に話合いを進めること」において全国・広島県とともに正答率が低いという結果が報告されている。また、「全国学力・学習状況調査の4年間の調査結果から今後の取組が期待される内容のまとめ」（平成24年）では、「話合いにおける司会の役割や参加する側としての立場、考えの根拠などを明確にしながら、話合いを計画的に進めること」に課題があると述べられている。これらの課題を改善するためには、「学年の段階に応じた司会の経験と指導の充実を図ること」「自分の立場・意見と根拠とを論理的に結び付けながら話し合う指導の充実を図ること」と述べられている。

以上の課題に関わって、話合いにおける役割についての先行研究や実践事例は、まだ少ない。また、小学校学習指導要領解説国語編（平成20年、以下「解説」とする。）において、司会などの役割について

の具体的な指導の必要性が述べられているのが、第3学年及び第4学年である。そこで、本研究では、第3学年国語科において、目的に応じて話合いを進行する力を高めるための学習指導の工夫を考察していくことにする。

### II 研究の基本的な考え方

#### 1 目的に応じて適切に話合いを進行するとは

##### (1) 話合いにおける目的の重要性

「指導要領」の国語「A話すこと・聞くこと」における「目標」を学年ごとにまとめて表1に示す。

表1 「話すこと・聞くこと」における各学年の目標（下線は稿者）

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
相手に応じ、身近なことなどについて、事柄の順序を考えながら話す能力、大事なことを落とさないよう聞く能力、話題に沿って話し合う能力を身に付けるとともに、進んで話したり聞いたりしようとする態度を育てる。	相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話す能力、話の中に気を付けて聞く能力、進行に沿って話し合う能力を身に付けるとともに、工夫をしながら話したり聞いたりしようとする態度を育てる。	目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる。

この目標に関わって、「解説」には、中学年の話題について、「低学年の『相手に応じ』」ることに加え、「目的」を明確にすることを求めている。」<sup>2)</sup>と述べられ、引き続いて高学年においても「目的」の重要性について述べられている。

また、水戸部修治（平成21年）は、「単に『グループで話し合いましょう』といった指示を行うだけではなく、何のために、どのような方向に向けて、どのように話し合うのかといったことについて具体的に子どもに示すことも大切なものとなる。」<sup>3)</sup>と述べている。

これらのことから、第3学年以上の話し合いにおいては、目的を明確にして話し合うことが重要であるといえる。

## （2）発達段階からみた中学年における話し合いとは

中学年の聞き方話し方の特徴について、山元悦子（2004）は、低学年頃に比べれば、自分の言いたいことを整理して話そうという意識が働いてくると述べる一方で、「自分の言いたいことを整えて言葉にしようとするあまり、相手への配慮や場の目的を見失っていきがちである。」<sup>4)</sup>といった指摘をしている。このような特徴のある中学年では、小グループで話し合う活動を積極的に取り入れ、協同性を育てることの重要性を述べている。

また、中学年における認知上の特性として、山元（2009）は、「他者と自己との違いを意識でき、違いを表現できるようになることが指摘できる。がそれが建設的なものになると限らず、話し合い展開は反論の応酬になることもある。」<sup>5)</sup>と述べている。この原因として、話し合いの目的や展開を同時に認識しながら思考を進めることができることや、建設的な話し合い方に関する知識が不十分であることを挙げている。

これらのことから、中学年においては、話し合いの目的からそれに協力して進めるために、話し合いの仕方を学ぶことが必要な段階であるといえる。

## （3）教科書教材からみた中学年における話し合い

高橋俊三（1993）が述べる、子供たちの学校生活から見た話し合いの種類を、表2にまとめる。

表2 話合いの種類

(1) 会議	学級や学校の身近な諸問題を解決するための話し合い
(2) 話合い	読解過程などの中にはあって、学習を進めるための話し合い
(3) 討論	特に話題を選び、互いの思考や思想を深めるための話し合い

次に、中学年における話し合いとして、具体的にどのような題材が取り上げられているのかを、5社の教科書から調べ、話し合いの目的と合わせて表3に整理する。

各題材の話し合いの目的に共通してみられるのは、「身の回りにある問題を解決するために話し合うこと」である。また、司会を立てた話し合いの例示が

あり、その単元においては、話し合いの仕方を学ぶことになっている。

表3 中学年における話し合い活動の題材と目的

学年	題材	話し合いの目的
東京書籍	3年 こちら、「子ども相談室」	友だちの相談事を解決するためにみんなで話し合う
	4年 みんなで話し合って	給食週間の取組として、調理員さんに感謝の気持ちを伝えるためにみんなでできることを話し合う
光村図書	3年 わたしたちの学校行事	地域の人たちを招待した交流会で学校行事についてどんな説明をすればよいかを話し合う
	4年 よりよい学級会をしよう	どうすればよりよい学級会になるか話し合う
三省堂	3年 よりよいクラスを作ろう	クラスをよりよくするためにアイデアを出し合い、「後ろの黒板の使い方」について話し合う
	4年 安全について考えよう	通学路の安全について、通学路のどんなところがあぶないか、どうすれば安全になるのかをみんなで話し合う
教育出版	3年 学校生活に生かす話し合いをしよう	日頃の係の仕事についてアンケートを取り、その結果を生かしてもっと楽しくなる係活動を考えるために話し合う
	4年 学級で話し合おう	校内テレビ放送で流す三分間の「学校紹介番組」で紹介する内容を決めるために話し合う
学校図書	3年 クラスレクリエーションをしよう	クラスのみんながもっと仲良くなるためのクラスレクリエーションをいつ、どんなことをするかについて話し合う
	4年 ごみをなくそう	身の回りのごみをなくすには、どのようにしたらよいかを話し合う

高橋（1993）の話し合いの種類と照らし合わせてみると、第3学年及び第4学年の教科書教材における話し合いは、「学級や学校の、身近な諸問題を解決するための話し合い（会議）」となっていることが分かる。

（1）（2）（3）から、本研究では、身近な諸問題を解決することを目的に、司会を立て、協力して一つの意見にまとめる会議という話し合い活動を取り上げることとする。

## （4）話し合いの進行における司会の重要性

話し合いの役割について「解説」には、「司会者は、話し合いがまとまるように進行していくのが役割である。」<sup>6)</sup>と述べられている。司会を初めて経験する児童に、司会の役割を理解させることが必要である。

村松賢一（2009）の述べる「話し合いの過程における司会の役割」を、表4にまとめて示す。

表4 話合いの過程における司会の役割

①枠組みを明示する	話し合いの目的やゴール、課題、話し合うべき事項、所要時間などを説明し、参加者に、何のために、何を、どこまで、どのように話し合うかを理解させる。目的やゴールは話し合いの最中にも時々参加者に想起させるとよい。
②発言を促す	参加者からまんべんなく意見を引き出す。発言が一部の人に偏らないように指名に配慮する。
③発言を明確にする	曖昧な意見には根拠や具体例を求めたり、だらだらした発言は要約するなどして、発言の明確化を図る。
④発言を類別する	途中で、それまでの発言を内容やレベルによって分類し、いくつかの主な意見に分ける。
⑤論点を整理する	途中で、主要な論点と副次的論点、一致点と対立点、決定事項と未解決課題などを整理し、参加者に、次は何について話し合うべきかを明示する。
⑥効率的に進行する	一つの論点で十分議論が尽くされたと判断した場合は、参加者の同意を得てすみやかに次の論点に移る。優柔不断で堂々巡りに陥らないよう、逆に、予断に基づいて強引に引き回さないようバランス感覚が必要である。
⑦最後に、決まったこと、懸念すべき事柄、記録を読み上げるなどして確認する。	

話合いを進行する上で、司会はその場の状況を把握し、話合いの目的からそれないように進めていくことが求められる。

若木常佳（平成13年）は、司会に必要な力について「即座に判断し、発言するという即座に応答する力」<sup>7)</sup>と捉え、この力を体得させることが有効な話合いを構築させることになると述べている。

本研究では、特定の児童のみが司会をするのではなく、全員が司会を経験することにより、その場の状況を把握し、話合いの目的からそれないように進めていく役割の大切さに気付かせたいと考える。

#### （5）目的に応じて適切に話合いを進行する力とは

棚橋尚子（2013）は、話合いの現状として、司会者が参加者に順に発表させるだけで、意見のすり合わせなどはあまり見られないなど、少人数の話合い活動においてさえも、適切に話合いが進行していないことを指摘している。

若木（平成13年）は、話合いの在り方として「話し合いの目的を意識し、お互いの意見を分類整理して方向性を模索しながら話し合いを進めていくものである。」<sup>8)</sup>と述べている。

では、会議という話合い活動において、適切に話合いを進行するとはどのように進めることであろうか。

「解説」には、目的に応じて適切に話合いを進行する力を高めるために、役割ごとの具体的な指導内容が述べられている。表5にまとめて示す。

表5 役割ごとの指導内容

司会者	提案者や参加者の発言を整理したり、促したり、まとめたりすることができるようになっていく。
提案者	参加者全員に考えが伝わるように話す内容を整理したり、話し方に注意したりする必要がある。
参加者	進行に合わせながら、積極的に自分の考えを発言し、話合いに加わるようになる。

また、話合いの言語活動例について「解説」には、学級全体で話し合うためには、話合いにおける各役割を決めて運営することの必要性と、個人やグループの意見の共通点や相違点を整理し、それらを反映させて一つの考えに集約することの重要性が述べられている。

以上のことから、本研究において、目的に応じて適切に話合いを進行する力とは、会議という話合い活動において、「司会者・提案者・参加者がそれぞれの役割を理解し、話合いの目的からそれに、自分と他者の意見の共通点と相違点を整理しながら話す力」とする。

## 2 目的に応じて適切に話合いを進行する力を高めるための指導の工夫

### （1）動画教材の有効性

「話すこと・聞くこと」の指導に関わって「解説」には、「音声言語のための教材を活用するなどして指導の効果を高めるよう工夫すること。」<sup>9)</sup>と述べられている。その教材として、動画は、次のような特性から話合いの指導において有効であると考える。

1点目は、学習者に話合いの臨場感を与えることができるということである。視聴する学習者は内容や声だけでなく、話し合っている人々の表情や仕草なども含めて話合いの様子を丸ごと視聴することになる。動画は聴覚だけでなく、直接学習者の視覚と聴覚に訴える教材になるといえる。

2点目は、着目させたい場面を焦点化できることである。野口芳宏（1995）は、「音声言語は『消えていく』ものであるが故に、その指導はその場ですぐに行なうことが最も有効である。」<sup>10)</sup>と述べている。発言の即時性が求められる話合いの学習において、動画は指導したい場面を焦点化して提示できる教材になるといえる。

3点目は、自分たちの話合いをモニタリングできることである。高橋（1993）は方法を示す教材について「完成されたものがよいとは限らない。教材の良いところは認め、悪いところは改善法を考えるというのも立派な教材の活用である。」<sup>11)</sup>とし、児童の話合いの様子を教材にすることの重要性を述べている。また、山元（2004）は、中学年の話合いの指導において、話合いの流れを振り返り、話合いに対するイメージをもたせ、よりよい話合いについて意識を高めていくことの必要性を述べている。

のことから、自分たちの話合いの様子を録画した動画を見て、話合いを振り返る（モニタリングする）ことは、よりよい話合いの仕方についてまとめることに有効であるといえる。

以上のことから、本研究では、目的に応じて適切に話合いを進行する力を高める指導の工夫として、動画教材を作成し、その有効性を生かした検証授業を行っていく。

### （2）動画を活用して話合いの仕方をまとめる活動を通した指導

本研究では、各役割についての理解や、発言の仕方を含めた話合いの仕方を学習する際に動画を活用する。研究授業で活用する動画は、作成した「話合いのモデル」及び授業で録画した「自分たちの話合いの様子」の2種類とし、主に役割を理解する際に

「話合いのモデル」を活用し、モニタリングして評価し合う際に「自分のたちの話合いの様子」を活用する。

「話合いのモデル」の動画は、村松（2009）の述べる「話合いの過程における司会の役割」を基に、項目が多く含まれていた教育出版3年生の教科書を参考にし、話合いの仕方の「役割を果たしている例」と「役割を果たしていない例」のモデルを作成する。シナリオを図1に示す。

議題「本の紹介をするためにどのような活動をしたらいいか」 ～相手や目的に応じて話し合う～ (教育出版「ひろがる言葉小学国語3上」平成24年を基に作成)	
共通部分	
これから、本の紹介をするために、どのような活動をしたらいいかということについて話し合うことをはっきりと伝えている。(最初に、大島さんに提案してもらいます。)	
アンケートの回答の中に、もっと、本の紹介をしてほしいという希望がありました。クイズ大会などをして、楽しくみんなに本を紹介したらいいと思います。	
他に意見はありませんか。(みんな：意見がないような雰囲気をつくる。)ないよう会なので、大島さん、もう少し詳しくやり方を話してください。	
はい。まずは学級文庫の中から紹介したい本を選びます。次にその本の中からクイズの問題を考えます。そして、クイズ大会で作ったクイズを出します。	
大島さんの提案は分かりましたか。(みんな：うなずく。)それでは、提案について意見を出してください。	
クイズは、誰が作るのですか。図書係ですか。みんなに作ってもらって集めますか。	
最初は、図書係が作ってやってみたらいいと思います。やり方が分かれば、みんなでクイズ大会が出来ると思います。	
役割を果たしている例	
参考2 クイズが楽しそうでいいですね。ぼくは○×クイズがいいと思います。みんなで問題を考えよう。	
参考3 ちょっと待ってください。まだ、クイズをするかは決まっていないので、クイズに決まってから、内容を考えましょう。まず、本の紹介の方法について、ほかの意見を出してください。(話し合っている内容からそれなりようにする。)	
参考4 わたしは、お話し会がいいと思います。この前、近くの図書館でお話し会をしていたので、行ってみました。図書館の方が選んだ本を読んでくださったのを聞いて、自分でも読みたくなったりました。	
参考5 お話し会も楽しいかもしれないけど、みんなは聞いているだけですか。できれば、クイズや読書郵便のように、みんなが一緒にやることがあったほうが、たくさん本を読むようになると思います。読書郵便は、友達에게おすすめるカードを書いてもらい、図書係が郵便のように届けるものです。	
参考6 提案が3つ出されました。みんなの考えの共通点は、読書の楽しさを伝えて、もっとみんなにいろいろな本を読んでもらうということです。司会は、クイズや読書郵便は、クラスのみんなと一緒に活動することになりますが、お話し会は、主に図書係が行う活動ですね。	
参考7 どれがよいと思いますか。(共通点や違う点を整理し、まとめている。)	
参考8 読書郵便に賛成します。クイズは楽しいと思つたけれど、自分のおすすめの本を紹介した方が、みんなにいろいろな本を読んでもらえると思います。	
参考9 ぼくも読書郵便に賛成します。もらったカードを記録としてとっておくことができるからです。	
参考10 図書係だけでなく、みんなで参加できるし、いろいろな本を紹介できるので本の紹介の方法は読書郵便をすることでいいですか。(みんな：はい。)	
参考11 今日は本を紹介するためにどんな活動をしたらよいかを話し合いました。みなさんいろいろな意見を出してくくれたありがとうございました。これで、話合いを終わります。	
役割を果たしていない例	
参考1 それいいね。ぼくは○×クイズがいいと思います。じゃあ、みんなで問題を考えよう。	
参考2 そうですね。では、どんなクイズがいいか考えてください。(司会がそれについて立場を忘れて自分勝手に進んでいる。)	
参考3 ぼくは、「学校の本は何冊あるか。」がいいと思います。	
参考4 私は、クイズだと本当に伝えたいことを紹介できないと思うので、クイズ以外にしたらいど思います。	
参考5 私もその方がいいと思います。	
参考6 ○×クイズより、3択クイズにした方が楽しいと思います。	
参考7 ○×クイズを5問ぐらいにしたらいど思います。	
参考8 意見が分かれたので、誰の意見に決めますか。多数決で決めてもいいですか。(整理しないまま決定しようとすると)	
参考9 いいです。	
参考10 ○×クイズがいい人は手を挙げてください。(提案と参考1と参考2と参考3と参考4と参考5と参考6と参考7と参考8と参考9と参考10と参考11と参考12と参考13と参考14と参考15と参考16と参考17と参考18と参考19と参考20と参考21と参考22と参考23と参考24と参考25と参考26と参考27と参考28と参考29と参考30と参考31と参考32と参考33と参考34と参考35と参考36と参考37と参考38と参考39と参考40と参考41と参考42と参考43と参考44と参考45と参考46と参考47と参考48と参考49と参考50と参考51と参考52と参考53と参考54と参考55と参考56と参考57と参考58と参考59と参考60と参考61と参考62と参考63と参考64と参考65と参考66と参考67と参考68と参考69と参考70と参考71と参考72と参考73と参考74と参考75と参考76と参考77と参考78と参考79と参考80と参考81と参考82と参考83と参考84と参考85と参考86と参考87と参考88と参考89と参考90と参考91と参考92と参考93と参考94と参考95と参考96と参考97と参考98と参考99と参考100と参考101と参考102と参考103と参考104と参考105と参考106と参考107と参考108と参考109と参考110と参考111と参考112と参考113と参考114と参考115と参考116と参考117と参考118と参考119と参考120と参考121と参考122と参考123と参考124と参考125と参考126と参考127と参考128と参考129と参考130と参考131と参考132と参考133と参考134と参考135と参考136と参考137と参考138と参考139と参考140と参考141と参考142と参考143と参考144と参考145と参考146と参考147と参考148と参考149と参考150と参考151と参考152と参考153と参考154と参考155と参考156と参考157と参考158と参考159と参考160と参考161と参考162と参考163と参考164と参考165と参考166と参考167と参考168と参考169と参考170と参考171と参考172と参考173と参考174と参考175と参考176と参考177と参考178と参考179と参考180と参考181と参考182と参考183と参考184と参考185と参考186と参考187と参考188と参考189と参考190と参考191と参考192と参考193と参考194と参考195と参考196と参考197と参考198と参考199と参考200と参考201と参考202と参考203と参考204と参考205と参考206と参考207と参考208と参考209と参考210と参考211と参考212と参考213と参考214と参考215と参考216と参考217と参考218と参考219と参考220と参考221と参考222と参考223と参考224と参考225と参考226と参考227と参考228と参考229と参考230と参考231と参考232と参考233と参考234と参考235と参考236と参考237と参考238と参考239と参考240と参考241と参考242と参考243と参考244と参考245と参考246と参考247と参考248と参考249と参考250と参考251と参考252と参考253と参考254と参考255と参考256と参考257と参考258と参考259と参考260と参考261と参考262と参考263と参考264と参考265と参考266と参考267と参考268と参考269と参考270と参考271と参考272と参考273と参考274と参考275と参考276と参考277と参考278と参考279と参考280と参考281と参考282と参考283と参考284と参考285と参考286と参考287と参考288と参考289と参考290と参考291と参考292と参考293と参考294と参考295と参考296と参考297と参考298と参考299と参考300と参考301と参考302と参考303と参考304と参考305と参考306と参考307と参考308と参考309と参考310と参考311と参考312と参考313と参考314と参考315と参考316と参考317と参考318と参考319と参考320と参考321と参考322と参考323と参考324と参考325と参考326と参考327と参考328と参考329と参考330と参考331と参考332と参考333と参考334と参考335と参考336と参考337と参考338と参考339と参考340と参考341と参考342と参考343と参考344と参考345と参考346と参考347と参考348と参考349と参考350と参考351と参考352と参考353と参考354と参考355と参考356と参考357と参考358と参考359と参考360と参考361と参考362と参考363と参考364と参考365と参考366と参考367と参考368と参考369と参考370と参考371と参考372と参考373と参考374と参考375と参考376と参考377と参考378と参考379と参考380と参考381と参考382と参考383と参考384と参考385と参考386と参考387と参考388と参考389と参考390と参考391と参考392と参考393と参考394と参考395と参考396と参考397と参考398と参考399と参考400と参考401と参考402と参考403と参考404と参考405と参考406と参考407と参考408と参考409と参考410と参考411と参考412と参考413と参考414と参考415と参考416と参考417と参考418と参考419と参考420と参考421と参考422と参考423と参考424と参考425と参考426と参考427と参考428と参考429と参考430と参考431と参考432と参考433と参考434と参考435と参考436と参考437と参考438と参考439と参考440と参考441と参考442と参考443と参考444と参考445と参考446と参考447と参考448と参考449と参考450と参考451と参考452と参考453と参考454と参考455と参考456と参考457と参考458と参考459と参考460と参考461と参考462と参考463と参考464と参考465と参考466と参考467と参考468と参考469と参考470と参考471と参考472と参考473と参考474と参考475と参考476と参考477と参考478と参考479と参考480と参考481と参考482と参考483と参考484と参考485と参考486と参考487と参考488と参考489と参考490と参考491と参考492と参考493と参考494と参考495と参考496と参考497と参考498と参考499と参考500と参考501と参考502と参考503と参考504と参考505と参考506と参考507と参考508と参考509と参考510と参考511と参考512と参考513と参考514と参考515と参考516と参考517と参考518と参考519と参考520と参考521と参考522と参考523と参考524と参考525と参考526と参考527と参考528と参考529と参考530と参考531と参考532と参考533と参考534と参考535と参考536と参考537と参考538と参考539と参考540と参考541と参考542と参考543と参考544と参考545と参考546と参考547と参考548と参考549と参考550と参考551と参考552と参考553と参考554と参考555と参考556と参考557と参考558と参考559と参考560と参考561と参考562と参考563と参考564と参考565と参考566と参考567と参考568と参考569と参考570と参考571と参考572と参考573と参考574と参考575と参考576と参考577と参考578と参考579と参考580と参考581と参考582と参考583と参考584と参考585と参考586と参考587と参考588と参考589と参考590と参考591と参考592と参考593と参考594と参考595と参考596と参考597と参考598と参考599と参考600と参考601と参考602と参考603と参考604と参考605と参考606と参考607と参考608と参考609と参考610と参考611と参考612と参考613と参考614と参考615と参考616と参考617と参考618と参考619と参考620と参考621と参考622と参考623と参考624と参考625と参考626と参考627と参考628と参考629と参考630と参考631と参考632と参考633と参考634と参考635と参考636と参考637と参考638と参考639と参考640と参考641と参考642と参考643と参考644と参考645と参考646と参考647と参考648と参考649と参考650と参考651と参考652と参考653と参考654と参考655と参考656と参考657と参考658と参考659と参考660と参考661と参考662と参考663と参考664と参考665と参考666と参考667と参考668と参考669と参考670と参考671と参考672と参考673と参考674と参考675と参考676と参考677と参考678と参考679と参考680と参考681と参考682と参考683と参考684と参考685と参考686と参考687と参考688と参考689と参考690と参考691と参考692と参考693と参考694と参考695と参考696と参考697と参考698と参考699と参考700と参考701と参考702と参考703と参考704と参考705と参考706と参考707と参考708と参考709と参考710と参考711と参考712と参考713と参考714と参考715と参考716と参考717と参考718と参考719と参考720と参考721と参考722と参考723と参考724と参考725と参考726と参考727と参考728と参考729と参考730と参考731と参考732と参考733と参考734と参考735と参考736と参考737と参考738と参考739と参考740と参考741と参考742と参考743と参考744と参考745と参考746と参考747と参考748と参考749と参考750と参考751と参考752と参考753と参考754と参考755と参考756と参考757と参考758と参考759と参考760と参考761と参考762と参考763と参考764と参考765と参考766と参考767と参考768と参考769と参考770と参考771と参考772と参考773と参考774と参考775と参考776と参考777と参考778と参考779と参考7710と参考7711と参考7712と参考7713と参考7714と参考7715と参考7716と参考7717と参考7718と参考7719と参考7720と参考7721と参考7722と参考7723と参考7724と参考7725と参考7726と参考7727と参考7728と参考7729と参考7730と参考7731と参考7732と参考7733と参考7734と参考7735と参考7736と参考7737と参考7738と参考7739と参考7740と参考7741と参考7742と参考7743と参考7744と参考7745と参考7746と参考7747と参考7748と参考7749と参考7750と参考7751と参考7752と参考7753と参考7754と参考7755と参考7756と参考7757と参考7758と参考7759と参考7760と参考7761と参考7762と参考7763と参考7764と参考7765と参考7766と参考7767と参考7768と参考7769と参考7770と参考7771と参考7772と参考7773と参考7774と参考7775と参考7776と参考7777と参考7778と参考7779と参考77710と参考77711と参考77712と参考77713と参考77714と参考77715と参考77716と参考77717と参考77718と参考77719と参考77720と参考77721と参考77722と参考77723と参考77724と参考77725と参考77726と参考77727と参考77728と参考77729と参考77730と参考77731と参考77732と参考77733と参考77734と参考77735と参考77736と参考77737と参考77738と参考77739と参考77740と参考77741と参考77742と参考77743と参考77744と参考77745と参考77746と参考77747と参考77748と参考77749と参考77750と参考77751と参考77752と参考77753と参考77754と参考77755と参考77756と参考77757と参考77758と参考77759と参考77760と参考77761と参考77762と参考77763と参考77764と参考77765と参考77766と参考77767と参考77768と参考77769と参考77770と参考77771と参考77772と参考77773と参考77774と参考77775と参考77776と参考77777と参考77778と参考77779と参考777710と参考777711と参考777712と参考777713と参考777714と参考777715と参考777716と参考777717と参考777718と参考777719と参考777720と参考777721と参考777722と参考777723と参考777724と参考777725と参考777726と参考777727と参考777728と参考777729と参考777730と参考777731と参考777732と参考777733と参考777734と参考777735と参考777736と参考777737と参考777738と参考777739と参考777740と参考777741と参考777742と参考777743と参考777744と参考777745と参考777746と参考777747と参考777748と参考777749と参考777750と参考777751と参考777752と参考777753と参考777754と参考777755と参考777756と参考777757と参考777758と参考777759と参考777760と参考777761と参考777762と参考777763と参考777764と参考777765と参考777766と参考777767と参考777768と参考777769と参考777770と参考777771と参考777772と参考777773と参考777774と参考777775と参考777776と参考777777と参考777778と参考777779と参考7777710と参考7777711と参考7777712と参考7777713と参考7777714と参考7777715と参考7777716と参考7777717と参考7777718と参考7777719と参考7777720と参考7777721と参考7777722と参考7777723と参考7777724と参考7777725と参考7777726と参考7777727と参考7777728と参考7777729と参考7777730と参考7777731と参考7777732と参考7777733と参考7777734と参考7777735と参考7777736と参考7777737と参考7777738と参考7777739と参考7777740と参考7777741と参考7777742と参考7777743と参考7777744と参考7777745と参考7777746と参考7777747と参考7777748と参考7777749と参考7777750と参考7777751と参考7777752と参考7777753と参考7777754と参考7777755と参考7777756と参考7777757と参考7777758と参考7777759と参考7777760と参考7777761と参考7777762と参考7777763と参考7777764と参考7777765と参考7777766と参考7777767と参考7777768と参考7777769と参考7777770と参考7777771と参考7777772と参考7777773と参考7777774と参考7777775と参考7777776と参考7777777と参考7777778と参考7777779と参考77777710と参考77777711と参考77777712と参考77777713と参考77777714と参考77777715と参考77777716と参考77777717と参考77777718と参考77777719と参考77777720と参考77777721と参考77777722と参考77777723と参考77777724と参考77777725と参考77777726と参考77777727と参考77777728と参考77777729と参考77777730と参考77777731と参考77777732と参考77777733と参考77777734と参考77777735と参考77777736と参考77777737と参考77777738と参考77777739と参考77777740と参考77777741と参考77777742と参考77777743と参考77777744と参考77777745と参考77777746と参考77777747と参考77777748と参考77777749と参考77777750と参考77777751と参考77777752と参考77777753と参考77777754と参考77777755と参考77777756と参考77777757と参考77777758と参考77777759と参考77777760と参考77777761と参考77777762と参考77777763と参考77777764と参考77777765と参考77777766と参考77777767と参考77777768と参考77777769と参考77777770と参考77777771と参考77777772と参考77777773と参考77777774と参考77777775と参考77777776と参考77777777と参考77777778と参考77777779と参考777777710と参考777777711と参考777777712と参考777777713と参考777777714と参考777777715と参考777777716と参考777777717と参考777777718と参考777777719と参考777777720と参考777777721と参考777777722と参考777777723と参考777777724と参考777777725と参考777777726と参考777777727と参考777777728と参考777777729と参考777777730と参考777777731と参考777777732と参考777777733と参考777777734と参考777777735と参考777777736と参考777777737と参考777777738と参考777777739と参考777777740と参考777777741と参考777777742と参考777777743と参考777777744と参考777777745と参考777777746と参考777777747と参考777777748と参考777777749と参考777777750と参考777777751と参考777777752と参考777777753と参考777777754と参考777777755と参考777777756と参考777777757と参考777777758と参考777777759と参考777777760と参考777777761と参考777777762と参考777777763と参考777777764と参考777777765と参考777777766と参考777777767と参考777777768と参考777777769と参考777777770と参考777777771と参考777777772と参考777777773と参考777777774と参考777777775と参考777777776と参考777777777と参考777777778と参考777777779と参考7777777710と参考7777777711と参考7777777712と参考7777777713と参考7777777714と参考7777777715と参考7777777716と参考7777777717と参考7777777718と参考7777777719と参考7777777720と参考7777777721と参考7777777722と参考7777777723と参考7777777724と参考7777777725と参考7777777726と参考7777777727と参考7777777728と参考7777777729と参考7777777730と参考7777777731と参考7777777732と参考7777777733と参考7777777734と参考7777777735と参考7777777736と参考7777777737と参考7777777738と参考7777777739と参考7777777740と参考7777777741と参考7777777742と参考7777777743と参考7777777744と参考7777777745と参考7777777746と参考7777777747と参考7777777748と参考7777777749と参考7777777750と参考7777777751と参考7777777752と参考7777777753と参考7777777754と参考7777777755と参考7777777756と参考7777777757と参考7777777758と参考7777777759と参考7777777760と参考7777777761と参考7777777762と参考7777777763と参考7777777764と参考7777777765と参考7777777766と参考7777777767と参考7777777768と参考7777777769と参考7777777770と参考7777777771と参考7777777772と参考7777777773と参考7777777774と参考7777777775と参考7777777776と参考7777777777と参考7777777778と参考7777777779と参考77777777710と参考77777777711と参考77777777712と参考77777777713と参考77777777714と参考77777777715と参考77777777716と参考77777777717と参考77777777718と参考77777777719と参考77777777720と参考77777777721と参考77777777722と参考77777777723と参考77777777724と参考77777777725と参考77777777726と参考77777777727と参考77777777728と参考77777777729と参考77777777730と参考77777777731と参考77777777732と参考77777777733と参考77777777734と参考77777777735と参考77777777736と参考77777777737と参考77777777738と参考77777777739と参考77777777740と参考77777777741と参考77777777742と参考77777777743と参考77777777744と参考77777777745と参考77777777746と参考77777777747と参考77777777748と参考77777777749と参考77777777750と参考77777777751と参考77777777752と参考77777777753と参考77777777754と参考77777777755と参考77777777756と参考77777777	

## (2) 事前アンケート及び事後アンケート

アンケートでは、4段階評定尺度法を用いて、話し合う力に対する児童の意識を把握する。事後アンケートでは、動画を用いて話合いの仕方をまとめる活動が、目的に応じて話合いを適切に進行する力を高めることに有効であったかの児童の意識を把握する。

## IV 研究授業について

### 1 研究授業の概要

研究授業では、学級会での話合いを本番とし、その話合いを成功させるために「話合い名人への手引き」を作るといった単元を貫く言語活動を設定した。表7に主な学習の流れを示す。

表7 主な学習活動の流れ

次時	学習内容	動画の活用	まとめる活動
学級会での話合いを成功させるために、「話合い名人への手引き」を作ろう。	話合いのモデル（役割を果たしている例）を見て気付いたことを出し合う。これまでの自分たちの話合い活動を振り返り、課題を明確にし、話合い名人になるための学習の見通しをもつ。	役割を果たしている例のモデル（臨場感）	課題について
	話合いのモデル（役割を果たしている例）を見て、提案者・参加者の話合いの進め方や話合いにおける役割を知る。	役割を果たしている例のモデル（焦点化）	提案者・参加者の役割について
	話合いのモデル（役割を果たしていない例）を見て、司会者の話合いの進め方や話合いにおける役割を知る。	役割を果たしていない例のモデル（焦点化）	司会者の役割について
	話合いの仕方で大切なことを役割ごとに確認し、全員が役割を交替して話合いの練習をする。（4人グループ）4分×4回「議題を選ぶ話合い」		
	自分たちの話合いの様子を振り返り、お互いにアドバイスし合いながら話合いの練習をする。（6人グループ）4分×3回「寒い日の健康的な過ごし方」	※グループの中で話合いの様子を見てアドバイスする役を設けた。	
	2つのグループに分かれ、話題からそればに話合いが進行しているかに気を付けて話合いを開き合う。（A、Bグループ）7分×2回「お楽しみ会のめあて」話合いの手引きを役割ごとにまとめる。	役割を果たしている例のモデル（焦点化） 第5時とAグループの話合いの様子（モニタリング）	話合いの手引き
	学級会での話合いをシミュレーションする。（学級全体）15分 「お楽しみ会のめあて」 今後の話合い活動に生かせるようにまとめる。	第6時のBグループの話合いの様子（焦点化・モニタリング）	意見をまとめた話合いで大切なこと 話合い名人への手引き

話合いにおける各役割について初めて学習する児童に、話合いのモデルの動画を見せ、発言の内容や話合いの様子から役割を理解させた。また、全員に役割を経験させ、その話合いの様子をモニタリングさせた。その際の気付きを次の話合いの練習に生かすよう指導した。

第4時から第7時にかけて、話合いの人数を徐々に増やして話合いの練習を行わせた。第3時で司会者の発言の仕方を学んだ後に「話合い進行表」としてまとめ、話合いで活用した。次に示す。

① 話合いの目的を確認するとき それでは、うさんには提案してもらいます。
② 意見を集めたいとき 意見について意見はありませんか。
③ 質問がある人は発言してください。 質問がある人は発言してください。
④ 途中で意見をまとめるとき 途中で意見をまとめるとき
⑤ 話合いの目的からそれたとき ちよつと待つください。まだ決まっていません。うが決まります。
⑥ ついで意見をまとめるとき ついで意見をまとめるとき
⑦ 今〇〇意見が多いようです。 今〇〇意見が多いようです。

話し合い進行表

### 2 研究授業の分析と考察

#### (1) 目的に応じて適切に話合いを進行する力が高まったか

##### ア 役割を理解することができたか

問い合わせにおいて、プレテストでは、ア・イのどちらも正解した児童は9人で全体の25%であったのに対し、ポストテストでは22人で全体の62%に上昇している。

次に、問い合わせの判断基準を表8、その基準に沿った結果を表9に示す。

表8 問い二の判断基準

A	出された意見の共通点と相違点をまとめ、話合いの進行を促していることを捉えた記述をしている。
B 1	出された意見の共通点と相違点をまとめていることを捉えた記述をしている。
B 2	出された意見の相違点をまとめていることを捉えている。
C	出された意見の共通点と相違点をまとめ、話合いの進行を促していることを捉えた記述をしていない。 分からないと記述している。

表9 プレテスト・ポストテストにおける問い合わせの結果

プレ	ポスト	A評価	B評価	C評価	計(人)
A評価		1			1
B評価		2	2		4
C評価		5(児童a)	19	6(児童b)	30
計(人)		8	21	6	35

問い合わせにおいては、学級全体の85%の児童がプレテストで、司会の進め方の良さについて「みんなのために気を使っている」など、司会の進め方を具体的な内容に踏み込んで捉えていなかった。しかし、ポストテストでは全体の83%の児童が、児童aのように、意見をまとめるポイントを捉えて記述していた。児童aは、意見をまとめた上で、合意を得ながら進めるという司会の具体的な進め方を捉えていることが分かる。

(プレテストにおける記述)  
みんなが昼夜を気持ちはよくすごせるように考えている。  
(ポストテストにおける記述)  
共通点を見つけています。ちがう点も見つけています。  
そこをみんなに聞いている。

児童aのプレテスト・ポストテストにおける記述内容

次に、プレテスト・ポストテストのいずれもC評価であった児童bは「気持ちが良いというのは人によって違いますと言ったところ」と記述しており、司会の進め方の良さに踏み込んだ記述ができていなかった。しかし、学習過程において、モニタリング後の気付きには「共通点や相違点を言っていたところが良い。」と記述していた。このことから、正しい評価をするために、文字だけでなく映像を取り入れたテストにするなどの工夫が必要であると考える。

アンケートの「話合いにおける役割（司会者・提案者・参加者）」について記述する問では、事前で「分からぬ」と記述した児童がいたが、事後では、学級の全員が話合いにおける役割を捉えた記述をしていた。事前で「分からぬ」と記述した児童cの事後における記述を表10に示す。

表10 児童cの事後アンケートにおける記述内容

司会者	話合いを進める。まとめてみんなに言う。
提案者	話し合ってほしいことを提案する。みんなに具体的に説明する。
参加者	司会者に合わせて意見を出す。話し合っていること違うことを言わない。

これらの結果から、課題を解決するための話合いにおける役割を理解することができたといえる。

#### イ 話合いの目的からそれずに、自分と他者の意見の共通点と相違点を整理しながら話すことができたか

図2は、「話合いのとき、問題が解決するように進めているか」について、図3は「自分の考えと同じか違うかを考えて聞いているか」についてのアンケートの結果を表している。

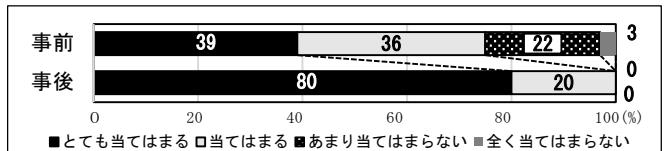


図2 「話合いのとき、問題が解決するように進めている」という児童の意識



図3 「自分の考えと同じか違うかを考えて聞いている」という児童の意識

どちらの項目も児童の意識が向上していることが分かる。図2の結果から、目的をもって話合いに臨むという児童の意識が向上したと考える。

また、図3のアンケート項目で、否定的回答から肯定的回答に変わった児童dの話合いのメモを図4に示す。第4時は、名前や意見の中身を全て羅列

したメモになっている。一方、第7時では、同じ意見を矢印でつなぎ、人数を書き込むなど、意見を整理したメモになっている。

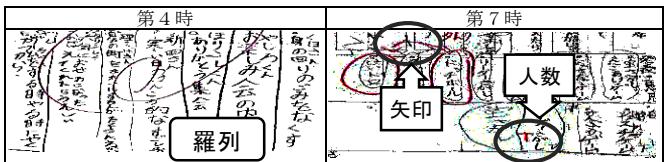


図4 児童dのメモの記述の比較

アンケートの結果と合わせてみると、問題解決に向けて話合いをするという目的意識をもち、共通点や相違点を整理しながら話合いに参加する児童が増えたことが分かる。しかし、児童dは話合いの中で発言するまでには至っていないことから、自分の意見を言うタイミングをつかむことが課題と考えられる。

次に第7時「学級会のシミュレーション」における司会者と参加者の発言から考察する。

<b>【司会者】</b>
① 提案について意見はありませんか。（提案者に）もう少し詳しく言ってください。
② 今楽しくやるという意見が多いようですね。今「けんかせず楽しくやる」と「ながよくする」という意見が出ています。
<b>【参加者】</b>
① 提案者の○○君に似ていて、「楽しくけんかなく楽しむ」がいいと思います。わけは楽しくけんかなくしたら心に残ってうれしいからです。
② ぼくは提案の意見と似ているところもあるけれど、少し違うところもあります。

第7時「学級会のシミュレーション」における児童の発言

司会者として、発言の明確化を図ったり、出た意見を共通点でまとめて決定を促したりしている。また、参加者として提案者の意見と自分の考えを比較して、共通点と相違点を捉えた発言をしている。これらの発言から、話合いの目的からそれないように自分の考えを整理しながら話していることが分かる。

ア、イのことから、目的に応じて適切に話合いを進行する力は、おおむね高まったと考える。

#### (2) 動画を活用し、話合いの仕方をまとめる活動は、目的に応じて適切に話合いを進行する力を高めることに有効であったか

##### ア 事後アンケートから

次ページの図5は、「話合いのビデオをみることはどんなことに役立つか」の設問で、「司会の発言を考えること」「話合いの仕方を学ぶこと」「自分たちの話合いの良かったところや直したらいよいところを振り返ること」の項目ごとの児童の意識を表している。

全ての項目において肯定的回答が97%となっていることから、話合いの動画を見ることは役に立つと捉えていることが分かる。

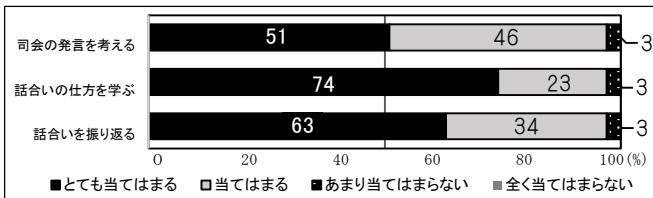


図5 話合いの動画の有効性についての児童の意識

これらのことから、話合いの学習において動画を活用することは有効であるといえる。

## イ 研究授業から

次に、話合いのモデルの動画を見たり、モニタリングで動画を見たりして、話合いの仕方をまとめる活動の有効性について、児童の振り返りの記述や発言を基に考察する。

### (ア) 動画の有効性1「臨場感」について

第1時において、話合いのモデル（役割を果たしている例）の動画を見て気付いたことを学級で出し合い、役割ごとにまとめたものである。その気付きの中には、教育出版の教科書にある話合いで気を付けるポイントが含まれていた。教科書のポイントと照らし合わせてまとめたものを表11に示す。

表11 話合いのモデル（役割を果たしている例）の動画を見ての気付き

	話合いのモデルを見ての気付き	教科書のポイント
司会者	<ul style="list-style-type: none"> <li>①最初と最後に目的を確認している。 ・意見が少ないときは意見を出した人にもう一度聞く。</li> <li>・発言の後に「いいですか」とみんなに確認している。</li> <li>②話がそれたら教えてあげる。</li> <li>③共通点を探している。</li> <li>③共通点を確認している。</li> <li>③共通点をまとめている。</li> <li>④意見をまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①話し合うことをはっきりと伝える。</li> <li>②話し合っている内容からそれないようにする。</li> <li>③共通点や違う点を整理し、まとめる。</li> <li>④大事なことをまとめ、話合いで決定する。</li> </ul>
提案者	<ul style="list-style-type: none"> <li>①提案があるから話合いをすることがよく分かる。</li> <li>②順序よく説明している。</li> <li>②分かりやすく説明している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①理由をはっきりさせて提案する。</li> <li>②質問されたことについて分かるように話す。</li> </ul>
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>①質問をしている。</li> <li>②理由をつけて意見を言っている。</li> <li>③すぐに自分の意見を言っている。 ・全員が意見を出している。</li> <li>③賛成・反対の意見を出している。 ・司会の言うことを聞いていて。</li> <li>・自分が話すときだけ話している。</li> <li>・意見を出すとすぐ次に意見が出ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①よく分からることは質問して確かめる。</li> <li>②理由を話すようにすると考えがよく伝わる。</li> <li>③自分の意見をはっきり言う。</li> </ul>

下線部分は、プレテストで司会の役割について「分からない」と記述した児童の気付きである。それ以外にも「メモしている」などの気付きを挙げていた。動画だからこそ、話合いの様子を臨場感をもって見ることができ、話合いの際の態度面においても気付けたことが分かる。役割を知らない児童にとって、動画を見ての気付きを出し合い、まとめるこ

とは、役割理解の手立てになっていると考える。

### (イ) 動画の有効性2「焦点化」について

話合いのモデルの動画を焦点化して活用した時間と、動画活用の目的を合わせて表12に示す。

表12 「話合いのモデル」を活用した時間と動画活用の目的

第2時	第3時	第6時
提案者・参加者の役割理解 役割を果たしている例	司会者の役割理解 司会の発言の仕方 役割を果たしていない例	モニタリングや相互評価の際の視点理解 役割を果たしている例

第2時では、それぞれの役割についてだけでなく「提案者は話し合ってほしいことを言う」「参加者はその提案に対して意見を出す」といった役割の関係について捉えた記述が見られた。

第3時で、話合いのモデル（役割を果たしていない例）の動画を見た直後の児童eの気付きを図6に示す。

話合いのモデル 	(児童eの気付き) 僕は、クイズに決まっていないのに、（司会者が）「いいですね。」って言ってしまったから、意見がごちゃごちゃに分かれて多数決になったんだと思います。
-------------	---

図6 話合いのモデル（役割を果たしていない例）を見た直後の児童の気付き

児童eの記述から、司会の役割を果たしていない発言によって、話合いの流れが変わることに気付いていることが分かる。学習後の振り返りに、「参加者の自分勝手な発言で話合いが適切に進まない」といった記述もあったことから、司会者だけでなく参加者の発言の仕方も、適切な話合いを進行する上で大切であることに気付いたことが分かる。

また、話合いの流れが変わった場面を焦点化し、司会の発言を考える学習では、児童は役割を果たしている例の司会の発言を基にして書いていた。前時までに、モデルを活用して役割理解をしていることで、役割を果たしていない例での司会の発言と比較しやすく、適切な発言を考えるために抵抗がなかったと考えられる。

第6時では、モニタリングの評価につながるよう、話合いのモデルの発言と評価の観点とを対応させた。プレテストで役割について「分からない」と解答した児童が、「共通点を言えばいい」など具体的にアドバイスしていたことから、話合いを客観的に見て、話合いの流れを捉えられるようになったと考える。

これらのことから、焦点化して動画を活用することは、即時性が求められる学習において具体的な改善策を捉えることに有効であるといえる。

A グループの話合いの様子	モニタリングの様子と児童 f の気付き	B グループの話合いの様子	第7時 「学級会のシミュレーション」の司会者の発言
司会 これからお楽しみ会のめあてについて話し合います。 それでは○君に提案してもらいます。 提案 お楽しみ会のめあてで「楽しい歌を歌つたらいいと思 います。」「歌をうると心が一つになって友達と気が合 つたりするからです。	モニタリングの様子と児童 f の気付き	司会 これからお楽しみ会のめあてについて話し合いを始めます。 僕はお楽しみ会のめあては、「みんなで楽しくやろう」がいいと 思います。わけはけんかなく楽 しくしたいからです。	提案について意見はありますか。 (出ないので提案者に) ②○○君、もう少し詳しく言ってください。
司会 意見のある人は発言してください。 児童 f 私は「みんな仲良く協力して楽しい会にしよう」とい うめあてがいいと思います。理由は協力・仲良くが目 標だからです。あと楽しい会にしたいからです。	「提案について意見を出せばよかったです」と思 います。	司会 ①提案の意見について、意見はありますか。ないような ので、質問はありませんか。	

図7 モニタリング後の児童 f の気付きと話合いの様子の変容

#### (4) 動画の有効性3 「モニタリング」について

第6・7時で「自分たちの話合いの様子」を録画したものを作成し、モニタリング後に気付きを出し合って話合いの手引きにまとめる活動を行った。焦点化してモニタリングした場面を表13に、モニタリング前後の話合いの変容を図7に示す。

表13 焦点化してモニタリングした場面

第6時	第7時
・司会が指名している場面 ・司会が意見を集める場面 (何についての発言をしてほしいか) ・一部の児童の発言に偏っている場面 ・話合いの目的がそれている場面 ・メモをとりながら話し合っていない場面	・前人の意見をつなげて 発言している場面 ・提案者の提案の内容が議題とかみ合っていない場面 ・提案に対する意見を出して いない場面

第6時では、学級を二つのグループに分け、前半のグループの話合いの様子を録画しておき、話合い終了直後に全員でモニタリングした。

児童 f は、モニタリング後に自分の発言が提案に対しての意見ではないことに気付き、全体で気付きを出し合う際に発表している。これは、モニタリングにより、話合いの中における自分の発言を客観的に捉えられた結果と考える。また、B グループや第7時の話合いにおいても下線①②のように、司会者も提案に対しての意見を促すようになっている。

このことから、モニタリングすることは、客観的に話合いの進行を捉え、自己評価や相互評価することに有効であると考える。

ア、イのことから、動画を活用し、話合いの仕方をまとめる活動を取り入れることは、目的に応じて話合いを進行する力を高めることに有効であったと考える。

## V 研究の成果と課題

### 1 研究の成果

小学校国語科の話し合うことに関する指導において、動画を活用し、話合いの仕方をまとめる活動をすることは、目的に応じて適切に話合いを進行する力を高めることに有効であることが明らかになった。

### 2 今後の課題

- 前の人の意見を受けた発言を意識するなど、さらに話合いが深められるように、司会を立てた話合い活動を積極的に取り入れていく。
- 話合いの指導において、発達段階を考慮して、動画の活用の仕方及び動画の内容を工夫し、系統性をもたせた指導計画を開発したいと考える。

### 【引用文献】

- 1) 文部科学省(平成20年a) :『小学校学習指導要領』東洋館出版社 p.22
- 2) 文部科学省(平成20年b) :『小学校学習指導要領解説国語編』東洋館出版社 p.50
- 3) 水戸部修治(平成21年) :『初等教育資料No.850』「子どもが見通しを立てて進める『話すこと・聞くこと』の授業づくり』東洋館出版社8月号 p.51
- 4) 山元悦子(2004) :『朝倉国語教育講座3 話し言葉の教育』倉澤栄吉 野地潤家監修 朝倉書店 p.55
- 5) 山元悦子(2009) :「コミュニケーション能力の発達に関する研究-小学5年生における認知・思考の発達特性-」『研究論文集-教育系・文系の九州地区国立大学間連携論文集- 第3巻 第1号』 p. 3
- 6) 文部科学省(平成20年b) :前掲書 p.53
- 7) 若木常佳(平成13年) :『話し合う力を育てる授業の実際-系統性を意識した三年間-』溪水社 p.128
- 8) 若木常佳(平成13年) :前掲書 p.128
- 9) 文部科学省(平成20年b) :前掲書 p.124
- 10) 野口芳宏(1995) :日本言語技術教育学会編「まず、『第一歩の踏み出し』が必要」『言語技術教育第3号』明治図書 p.17
- 11) 高橋俊三(1993) :『〔国語教育ブックレット 10〕対話能力を磨く―話し言葉の授業改革―』明治図書 p.157

### 【参考文献】

- 村松賢一(2009) :日本国語教育学会編『国語教育辞典(新装版)』朝倉書店  
水戸部修治(2013) :『小学校言語活動パーソナルガイド』明治図書